

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度			
総合計画	大項目	基本目標	05 住民主体の協働のまちづくり
	中項目	基本施策	02 ふれあい豊かなまちづくり
	小項目	施策	02 男女共同参画社会の形成
事務事業名		01	男女共同参画啓発事業
根拠法令・例規等		男女共同参画社会基本法 備前市男女共同参画まちづくり条例	
問		担当課(室)	まちづくり推進課
合		職・氏名	参事 児島まり子
先		電話	0869-64-1823
このシート作成に要した時間		7.0 時間	

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	市・市民・事業者
目的(何のために)	男女共同参画のまちづくりの推進に関し、様々な取り組みが行われているが、社会的につくられた性別の意識や、性別による固定的な役割分担に起因する課題は今なお存在している。市としては、男女共同参画のまちづくりを進めていくための具体的施策の方向を示す基本計画を定め、男女がともに支え合い、輝いて生きることができるよう男女共同参画のまちづくりを推進する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	男女共同参画への意識づくり、男女共同参画の意識啓発や促進を図ることにより、備前市の男女共同参画のまちづくりが推進できる。

事業の目的、対象、内容を考えてながら妥当性の評価を行って下さい

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	男女共同参画啓発事業	男女共同参画に関するイベント、セミナー、講座の開催や広報誌等による男女共同参画の啓発を図る。	
	啓発標語募集事業	一般市民、小中高等学校及び養護学校の児童・生徒が男女共同参画社会標語を応募することにより、意識啓発を図る。	
	きらめきフェスタ事業	男女共同参画社会の実現に向けて、公演等の市民参加の催しを開催し、意識啓発を図る。	
	ウィズびぜん運営事業	男女共同参画社会の実現に向けたグループ活動や学習、情報交換の拠点施設としての事業	
	日本女性会議参加負担金	全国の推進事例の収集及び意見交換をする日本女性会議参加負担金	

事業費や単位当たりコストは留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
決算額	直接事業費		1,387	1,130	962	
	必要人員(人件費)	千円	0.70人	6,795	0.76人	7,475
	事業費		8,182	8,605	7,034	
	国県支出金		950	997	570	
	受益者負担					
	繰入金	千円				
その他( )						
一般財源			7,232	7,608	6,464	
受益者負担比率	%		-	-	-	
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
結果指標	講座等啓発事業(参加者数)	説明	いきいきセミナー、出前講座の参加者数			
	結果指標量	事業	497	373	374	
	対前年比	%	-	75.1%	100.3%	
	活動コスト	円	2,957,270	3,229,410	2,421,169	
単位当たりコスト			5,950	8,658	6,474	

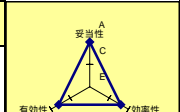
事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
地域や職場で男女が対等に活躍できていると感じている市民の割合	目標値(A)	16	19	19	19
	実績値(B)	18.2	17.6	16.5	到達目標値
	達成率(B/A)	113.8%	92.6%	86.8%	20
成果指標設定の考え方・式や説明					
市民意識調査回答・・・4.市民主体の協働のまちづくり (2)ふれあい豊かなまちづくり (施策)男女共同参画社会の形成					

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> <b>A</b>
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> <b>B</b>
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A-E> <b>B</b>

留意事項の目的やその数値目標を達成するための結果指標

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	細事業の見直しを図り、男女共同参画の啓発事業を実施し、広く市民に意識啓発を図る。					

総合評価	
広く市民各層を対象に、継続的に啓発事業を実施し意識啓発を図ることにより、男女共同参画のまちづくりを促進した。	評価区分 <A-E> <b>B</b>



平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	平成23年度を目標年度とする5年計画の「男女共同参画基本計画」を平成24年度以降の基本計画策定(改訂)に取組む。					